



レビー小体型認知症 (DLB) 検定試験のご案内

レビー小体型認知症 (DLB) の発見者であり、第一人者でおられる横浜市立大学名誉教授・小阪憲司先生の監修により、適切な知識の習得を目的として、「レビー小体型認知症 (DLB) 検定試験」を平成 30 年度に実施する予定です。

検定試験の詳細は、決まり次第随時公開していきます。

監修者紹介



小阪 憲司 (コサカ ケンジ)

横浜市立大学名誉教授、総合ケア推進協議会相談役、医学博士、精神科医。1939年、三重県生まれ。金沢大学医学部卒業。

名古屋大学医学部精神医学教室講師、横浜市立大学医学部精神医学講座教授、聖マリアンナ医学研究所所長、横浜ほうゆう病院院長などを経て、1976年以降の一連の研究にて、世界で初めてレビー小体型認知症について明らかにした。

横浜市立大学名誉教授、レビー小体型認知症研究会代表世話人、レビー小体型認知症サポートネットワーク (略称、DLBSN) 総顧問、若年認知症研究会代表世話人などを務める。

レビー小体型認知症とは

幻視・異常行動・パーキンソン症状・自律神経症状などが特徴で、第二の認知症とも呼ばれています。

大脳皮質に、「レビー小体」という特殊な物質が広く出現し、進行性の認知障害とパーキンソン症状や自律神経症状などで特徴づけられる疾患です。

レビー小体型認知症のセミナーのご案内

小阪憲司先生がレビー小体型認知症の症状や特徴、パーキンソン病との関係など、事例を交えながら臨床の視点より解説します。

第13回キャリアアップセミナーレビー小体型認知症をめぐって～臨床と介護～

平成29年10月1日(日) 13:00～16:00 福岡会場：九州大学病院キャンパス
詳細や申込方法につきましては「資格取得キャリアカレッジ」にお問い合わせください。

ホームページ：<http://www.ss-cc.jp/> TEL：03-5823-7885 FAX：03-5823-7886